

芦っ子協議会だより

芦っ子協議会は、学校・家庭・地域が一体となり

第4号

地域総ぐるみで「子供たちの育ち」を支援する組織です。

連絡先 022-246-0858

編集責任者 榊井 裕



1年間の あいさつ運動 へのご協力に 感謝

1年前に発足した芦っ子協議会では、地域の子供たちの心の育ちを支えるため、下図イメージのような「心に届くあいさつを広げる」活動に取り組んで参りました。取組のメインは、地域への啓発も兼ねた月1回計7回のあいさつ運動。そのほか、家庭や地域、学校においては、あいさつの一層の深まりをめざし取り組んで参りました。2月開催第4回協議会では、今年度の成果と課題を話し合いました。確実に成果が現れ始め、今後の継続が重要という結論となりました。皆様への感謝とともに概要を報告いたします。

成果

○朝のあいさつ運動時だけでなく、下校時や道路でのすれ違い時にも、自分からあいさつする児童や相手にあいさつを返せる児童が増えてきた。

(保護者、地域関係者アンケート自由記述や地域の会議での聞き取りから)

○児童アンケートの結果から、児童には、各発達段階に応じた意識の高まりが見られた。

○保護者や地域の方のアンケート結果から、児童が、昨年より心に届くあいさつができるようになったと捉えていることが分かった。また、自らもあいさつの手本を示したり、児童のよいあいさつを褒めたりする傾向が強まったことが分かった。



※成果の背景に、芦の口学区町内会連絡協議会や西多賀、八木山、鹿野三地区の民生委員・児童委員協議会等地域団体の理解と協力、また運動を盛り上げる「のぼり旗」や「ポスター」などの啓発グッズを提供して下さった西多賀地区福祉団体連絡会の理解と支援によるところが大きいと捉えております。あらためて感謝申し上げます。

課題

○「心に届くあいさつができた」と捉える児童が増えた一方、「できていない」と捉える児童も一定数いる。児童の個性や性格に応じたあいさつの仕方を大人と子供で工夫していくことが必要である。

○芦の口地域全体へのあいさつの広がりを目指しているが、現在は地域の学校関係者に限られている。関係者以外の方への協議会の趣旨の浸透を図り、運動への協力を求めていくことが必要である。



【青門北の各交差点に分散して参加するスタッフ】

次年度のお願い

○芦の口全家庭に取組を理解していただくため、新年度町内会総会資料とともに「芦っ子協議会からのお願い」を配付させていただき準備をしています。ご覧いただき、毎月のあいさつ運動や隣近所でのあいさつ運動に、できることから是非ご協力をお願いしたいと考えております。

毎朝のあいさつ・見守り ありがとうございます!! シリーズ②

今回は、西の平地区にお住まいのさりたふみこ去田文子さんにお話を伺いました。

去田さんには、学校ボランティア防犯巡視員としても、立ち上げ初年度から現在まで活動して頂いております。

ごみ出し時に、子供たちに「おはよう。」「いってらっしゃい。」とあいさつを交わしたことがきっかけとなり、15年間、ご自宅近くの通学路で毎朝、あいさつ・見守りを行っています。子供たちからは、あいさつとともに、「朝ごはん何食べたの?」「服の色きれい!」などと話しかけられ、楽しい会話の交流もあるそうです。子供たちがとてもかわいらしく、元気ももらえるので、現在まで自然に続いているとのことでした。また、子供たちは、手紙を渡してくれたり、卒業の報告に来てくれたり、



賞状を見せに来てくれたりすることもあるそうです。その他にも、子供たちとのたくさんの嬉しい思い出があることを、笑顔でお話ししてくださいました。去田さんの、明るく優しい笑顔と心に届くあいさつや声かけが、子供たちに伝わり、温かい交流が育まれていったと思われます。さらに、去田さんは、その日の子供の様子によって、手をつないで途中まで送ってくださることもあるそうです。

毎日のあいさつ・見守りに、心より感謝申し上げるとともに、お体を大切にされ、これからも子供たちの支えになって頂ければ幸いです。

学校での具体的実践「勇気を出して、近くの人からあいさつの輪を広げよう」

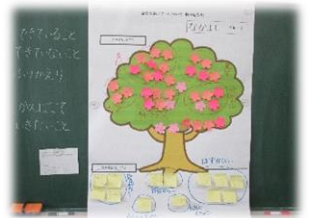
あいさつのか!



6年 A・H



1月17日はあいさつ運動の日。朝にあいさつ運動を行って、1時間目は全学級でこれまでの「あいさつ」について振り返る授業を行いました。花びらの付箋は自分でできたこと、黄色の付箋はもっと頑張りたいことを「あいさつの木」に貼りながら話し合っグループでまとめました。芦っ子協議会委員の皆様にも授業を見ていただき、子供たちの生の声を聞いて、素直な振り返りに感心されていました。



ワークシートを見ると、花びらの付箋には、「勇気を出してあいさつできた」「近所の人から、いってらっしゃいって言われてうれしかった」など、家庭や地域で頑張ったこと、うれしかったことが具体的に書かれていました。黄色の付箋には、「今度は笑顔であいさつしたい」「もっと大きな声であいさつしたい」など、頑張りたいことが書かれていました。学校以外でも、あいさつを頑張っている子供たちの姿が想像できました。